さいたま市立中尾小学校　１１月号（第５２６号）　令和８年１０月３０日

中尾小だより

知・徳・体の調和のとれた
心豊かな児童の育成
学びいっぱい　優しさいっぱい　元気いっぱい

〒３３６-０９３２　さいたま市緑区中尾２５９６－１
ＨＰ　http:nakao-e.saitama-city.ed.jp　　ＴＥＬ　048-873-0216　　ＦＡＸ　048-810-1120

当たり前の日々に感謝を　～勤労感謝の日～

校　長　　石　田　成　夫

中尾小の木々が葉を落とし始めました。校庭やグリーンランドの木々も、少しずつ葉の色を赤や黄色に染め、秋の装いに変わりつつあります。朝夕と日中の気温差が大きくなり、洋服選びに悩む季節となってきました。

昨年、一昨年と連続で雨天延期となった運動会ですが、今年度は予定通り、10月17日に実施することができました。少し暑さを感じるくらいの晴天の下、子どもたちは、これまで積み上げてきた練習の成果を発揮し、運動会を成功させることができました。保護者の皆様におかれましては、子どもたちの健康管理をはじめ、運動会に向けた諸準備を整えていただき、本当にありがとうございました。また、地域の皆様におかれましては、子どもたちが無事に当日を迎えられるよう見守りにご協力いただき、心より感謝申し上げます。

さて、先日、３年生が大間木の緑消防署を見学し、火災から人々を守る仕事について学んできました。６年生は「夢工房 未来（みら）くる先生ふれ愛推進事業」で、お笑い芸人・プロ格闘家のスピーディーハンターさんから演芸について御講演いただいた他、２年生の生活科「町たんけん」や、５年生の社会科で、人々の暮らしを支える多種多様な「仕事」について学んでいます。

そして、11月23日は「勤労感謝の日」で、「働くことを尊び、生産を祝い、国民が互いに感謝し合う日」です。私たちの毎日の暮らしは、多くの人々の働きによって支えられています。

小学生の子どもたちにとって、「働く」ということはまだ遠い未来のことかもしれません。しかし、自分のためだけでなく誰かのために力を尽くすことや、自分が多くの人に支えられていることを知ることは、今の時期から育んでいきたい大切な学びの一つです。

中尾小では、各クラスの係活動や当番活動、学校の委員会活動などを通して、自分の役割を果たすことの大切さを学んでいます。学級や学校のために働く経験を重ねる中で、「ありがとう」と言われる喜びや、人の役に立つことの充実感を感じている姿が見られます。

この機会に、ご家庭でもお子様と一緒に身の回りの「働く人」について話題にしていただければと思います。毎日食べる食事、利用するお店や交通機関、学校で学ぶ環境など、多くの人の支えによって成り立っていることに気付くことが、感謝の心を育む第一歩となります。

子どもたちが、自分を支えてくれる人々への感謝を忘れず、将来は自らも誰かの役に立とうとする気持ちを育んでいけるよう、学校でも教育活動を進めてまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「心を潤す４つの言葉」推進週間

本校では、１１月１６日からの一週間を、「心を潤す４つの言葉」推進週間として重点的に取り組みます。これは、さいたま市内の各学校における児童生徒・教職員・保護者・地域の方々が、積極的に気持ちのよいあいさつや返事、心をこめた素直な言葉を交わすことによって、一人ひとりの心が通う学校や地域づくりを目指すものです。家庭・地域におかれましても、この４つの言葉の積極的に活用し、中尾っ子たちの豊かな心の醸成にご協力をお願いします。

